

科目名		プレゼンテーション 1						年度	2025	
英語科目名		Presentation 1						学期	後期	
学科・学年		機械設計科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		野崎 甚司		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		研究開発	
【科目の目的】										
自己表現方法のひとつである「プレゼンテーション手法」の基礎・ツールを体系的に理解することで、就職活動、進学、作品発表などの自己業現を練習し体得する事を目的とする										
【科目の概要】										
プレゼンテーションの目的理解とその準備の流れ、道具の使い方（パソコンリテラシ）、プレゼンテーションの進め方を学ぶ。										
【到達目標】										
基本的なコミュニケーションとしてのプレゼンテーションを学び、学校での学び・インターンシップ・将来の仕事・社会生活の中で、自分の意見を効率的に伝えることができるコミュニケーションスキルを身に付けることを目標とする。										
【授業の注意点】										
職業人としての知識習得の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、試験合格に向けて各自問題演習を行い合格をめざすこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席（オンライン授業含む）しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 自己表現	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手を感動させることができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現できる	プレゼンテーションツールは活用できるが自身の意見は表現できない	プレゼンテーションツールが活用できず自己表現もできない					
到達目標 グループワーク	グループでプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	グループでプレゼンテーションを行いグループの意見を資料で表現できる	グループでプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りてグループでプレゼンテーションを行うことができる	グループでプレゼンテーションを行うことができない					
到達目標 個人発表	単独でプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	単独でプレゼンテーションを行い自身の意見を表現できる	単独でプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りて単独でプレゼンテーションを行うことができる	単独でプレゼンテーションを行うことができない					
到達目標 ツールの理解	プレゼンテーションツールの使い方を理解し自身のオリジナルで実践できる	プレゼンテーションツールの使い方を理解し実践できる	プレゼンテーションツールの使い方を理解している	周囲の力を借りればプレゼンテーションツールを活用することができる	プレゼンテーションツールの使い方が解らない					
到達目標 プレゼン基礎	プレゼンテーション手法と注意点、効果的な手法を理解し実践できる	プレゼンテーション手法を理解し、実践できる	プレゼンテーション手法を理解し、他者に説明できる	プレゼンテーション手法を理解している	プレゼンテーション手法を理解していない					
【教科書】										
各授業において適時必要な参考資料を配布する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
演習課題 50% 課題を総合的に評価する レポート 20% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 提出物等の期限厳守を積極的な授業参加、授業態度として評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		プレゼンテーション 1			年度	2025
英語表記		Presentation 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの目的とその方法を理解する	1 基礎理解	プレゼンテーションの基礎を理解している	3	
			2 目的の理解	プレゼンテーションの目的を理解している		
			3 方法の理解	プレゼンテーションの方法を理解し説明できる		
2	プレゼンテーションの作成準備（１）	アウトラインの作成と注意点を理解する	1 アウトラインとは	ストーリーを構築する必要性を理解している	3	
			2 作成方法の理解	アウトラインの作成方法を理解し実践できる		
			3 注意点の理解	注意点を把握し実践できる		
3	プレゼンテーションの作成準備（２）	わかりやすいタイトル・見出しの付け方を理解する	1 タイトルの必要性	タイトルの必要性を理解し説明できる	3	
			2 タイトルの付け方	テーマに沿ったタイトルをつけることができる		
			3 注意点の理解	注意点を把握し実践できる		
4	プレゼンテーションツールの使い方（１）	パソコンなどのプレゼンテーションツールの種類と使い方を理解する	1 ツールの種類	ツールの種類を理解し必要なツールを選択できる	3	
			2 ツールの使い方	ツールの使い方の基礎を理解している		
			3 注意点の理解	注意点を把握し実践できる		
5	プレゼンテーションツールの使い方（２）	パソコンなどのプレゼンテーションツールの使い方を理解し実践する	1 ツールの練習①	ツール練習課題①を完成させることができる	3	
			2 ツールの練習②	ツール練習課題②を完成させることができる		
			3 ツールの練習③	ツール練習課題③を完成させることができる		
6	プレゼンテーションの進め方（１）	プレゼンテーションにおける効果的な資料の作成方法を理解し実践する	1 進め方の理解	プレゼンテーションの進め方を理解し説明できる	3	
			2 効果的な説明法	効果的な表現方法を理解している		
			3 ツールの練習	効果的な表現方法を理解し実践できる		
7	プレゼンテーションの進め方（２）	プレゼンテーションの時間配分を理解し実践する	1 時間配分の大切さ	時間配分の大切さを理解し説明できる	3	
			2 時間配分の手法	時間配分の大切さを理解しその手法を実践できる		
			3 時間配分の練習	練習課題を完遂する事が出来る		
8	個人プレゼンテーション発表（１）	テーマに基づき、個人プレゼンテーションを準備し発表を行う	1 個人プレゼン準備①	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる	3	
			2 個人プレゼン準備②	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		
			3 個人プレゼン準備③	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		
9	個人プレゼンテーション発表（２）		1 個人プレゼン準備④	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる	3	
			2 個人プレゼン準備⑤	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		
			3 個人プレゼン準備⑥	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる		
10	個人プレゼンテーション発表（３）		1 個人プレゼン準備⑦	プレゼンテーション準備を自発的に実践できる	2	
			2 個人プレゼン発表	個人でプレゼンテーションを行うことができる		
			3 他者プレゼン評価	他己評価を行い自身のプレゼンに反映できる		
11	個人プレゼンテーション振り返り・評価	個人プレゼンテーションにおける振り返りを行い、改善点を理解する	1 ふりかえり	自身の発表の振り返りを行うことができる	3	
			2 改善点の理解	ふりかえりに基づき改善点を抽出できる		
			3 改善内容の実践	改善点を自身の発表に反映できる		
12	グループ プレゼンテーションのポイント	個人とグループでのプレゼンテーションの違いを理解し、テーマの検討を行う	1 グループプレゼンの目的理解	グループ作業の違いを理解し説明できる	3	
			2 グループプレゼンの注意事項	自身の適性にに応じた役割を俯瞰的に理解し実践できる		
			3 グループプレゼン準備①	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる		
13	グループプレゼンテーションの発表（１）	テーマに基づき、グループプレゼンテーションを準備し発表を行う	1 グループプレゼン準備②	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる	3	
			2 グループプレゼン準備③	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる		
			3 グループプレゼン準備④	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる		
14	グループプレゼンテーションの発表（２）		1 グループプレゼン準備⑤	プレゼンテーション準備をチームワーク良く実践できる	2	
			2 グループプレゼン発表	グループでプレゼンテーションを行うことができる		
			3 他グループ評価	他己評価を行い自身のプレゼンに反映できる		
15	グループプレゼンテーションの評価とまとめ	グループプレゼンテーションにおける振り返りを行い、改善点を理解する	1 ふりかえり	発表の振り返りを行うことができる	3	
			2 改善点の理解	ふりかえりに基づき改善点を抽出できる		
			3 改善内容の実践	改善点を自身の発表に反映できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等